

少年野球で国際交流

—白浜スポーツ少年団—



▲野球を楽しみ、友情を深めた子供たち



世界各国から16チームが
参加し東京で開催された、
第13回少年野球世界大会の
Cブロックリーグ戦が、7月
29日光スポーツ公園で開か
れました。この大会に参加
した南米ペルーの子供た
ちは、7月27日から8月2
日まで白浜スポーツ少年団
の各家庭にホームステイし
ながら白浜小を訪問したり、
白浜スポーツ少年団と親
善試合を行いました。また
バーベキューや地曳網を楽
しみ光町での生活に親しん
でいました。現在真冬のペ
ルーからきた子供たちは、
日本の暑さに少し疲れ気味



▲地獄の一場面
巨大な仮面をつけた「俱生神」と「閻魔大王」

▲鬼婆による虫封じ

スポーツの好きなお年寄
りのグループ「はまGB
チーム」(伊藤広代表)では、
7月29日田原白浜GB場
(木戸浜)に跳子・旭・多
古のお友だちを招いて、親
善交歓のゲートボールの試
合を行いました。

【写真】照りつける真夏
の太陽の下で和氣あいあい、
休憩には西瓜でのどをうる
おし、お寿司をほつばら楽し
しい一日でした。

▼和やかに熱戦を展開



親善ゲートボール大会

通信員 木原正子(原方)



▲集落に響き渡る笛・太鼓の音色

8000年の歴史の重み 鬼来迎

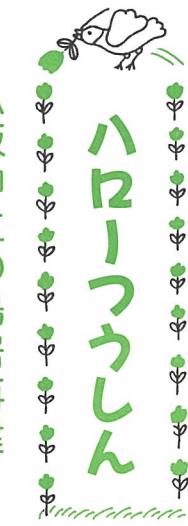
山すそに設けられた舞台
の陰から「ジャーン、ジャ
ーン」と鏡鉢の音、「ホツ
ホツホー」の奇声がひびく
といよいよ開演。

猛暑の8月16日、虫生の
広濟寺で伝統の鬼来迎が演
じられました。

地獄で鬼の責め苦にあう
亡者を地蔵や観音菩薩が救

でしたが、グラウンドでは
さわやかな汗を流して、好
きな野球で、国際交流をは
かっていました。

舞台に登場する鬼婆に、
赤ん坊を抱いてもらうと健
康に育つという虫封じの場
面では、赤ちゃんのこわが
り泣く姿に集まつた多勢の
観衆から思わず笑いがおこ
っていました。



八坂神社の鳥居再建

原方集落では、損傷の激
しかつた鳥居が再建され、
われました。当曰は式典が行
後若い男女20数人が、新調
した名人の半天を装い、年
長者の指導により毎夜練習
したあはやしが集落に響き
渡りました。一時間余りの
なごみは不景気を吹きとぼ
し、集落の発展と潤いを感じ
させました。

フ月15日に厳肅な式典が行
われました。当曰は式典の

後若い男女20数人が、新調
した名人の半天を装い、年
長者の指導により毎夜練習
したあはやしが集落に響き
渡りました。一時間余りの
なごみは不景気を吹きとぼ
し、集落の発展と潤いを感じ
させました。

【写真】照りつける真夏
の太陽の下で和氣あいあい、
休憩には西瓜でのどをうる
おし、お寿司をほつばら楽し
しい一日でした。

通信員 山辺光男(木戸)